

【単元のポイント】

一億をこえる数

4年生 算数 第1単元

学習指導要領（平成29年告示）の目標

【A 数と計算】 A(1) 整数の表し方

億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めること。また、整数を10倍、100倍、1000倍したり、10で割ったりしたときの大きさの表し方を理解すること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- ・ 億・兆の単位を知り、それを用いて数を読んだり書いたりできる
- ・ 十進位取り記数法の仕組みを理解している
- ・ 整数を10倍、100倍、1000倍、10分の1にした数を求められる
- ・ 四捨五入によるがい数の表し方を理解している

【思考・判断・表現】

- ・ 数の相対的な大きさについて考えることができる
- ・ 日常生活で使われる大きな数について考察できる
- ・ がい数の活用場面を判断できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 身の回りの大きな数に関心をもっている
- ・ 数の仕組みを生活に活かそうとしている

◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

1. 十進位取り記数法

- 一、十、百、千、万、十万、百万、千万、一億…と4桁ごとにまとまる
- 各位の数字は0~9の10種類
- 位が1つ上がると10倍になる仕組みを理解させる

2. 億・兆の単位

- 1億 = 10000万 = 100000000 (0が8つ)
- 1兆 = 10000億 = 1000000000000 (0が12つ)
- 日本の人口、国の予算など具体例で実感させる

3. 10倍、100倍、10分の1

- 10倍すると位が1つずつ上がる（右に0が1つ増える）
- 100倍すると位が2つずつ上がる（右に0が2つ増える）
- 10で割ると位が1つずつ下がる（右端の0が1つ消える）

4. つまずきやすいポイント

- 数字を読むときに位取りを間違える（特に千万と一億の境目）
- 0の数を数え間違える
- 10倍と10分の1を混同する
- 四捨五入する位を間違える

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 4桁区切り：数字は4桁ごとに区切って読みやすくする
2. 位取り表：一、十、百、千…の位取り表を活用する
3. 具体例：人口、距離、予算など身近な大きな数を使う
4. 段階的：万→億→兆と段階的に扱う
5. 数直線：数の大小関係を視覚的に理解させる